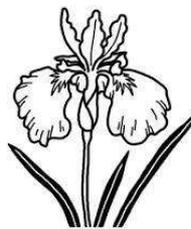


新年度 大智寺役員会



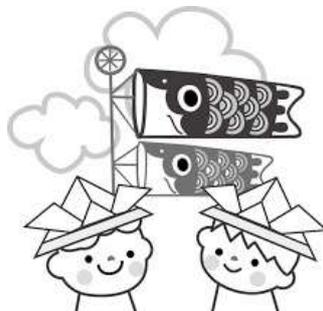
例年より少し遅めに咲きだした桜が
一気に開花した4月16日、
お寺では新年度役員会が開かれました。

今年度は、責任役員様（総代様）3名
及び地域の世話役様11名の交代がありました。

これから3年間、新しいメンバーで
お寺の運営を考えていくこととなります。

どうぞよろしくお願いいたします。

また、旧役員様方には
平成26年度より3年間本当にお世話になりました。
ありがとうございました。



年度初め、新メンバーでの役員会ということもあり、
今回は主に年間行事について
住職より説明させていただきました。
今年度は特別な行事はなく、例年通りの一年となりそうです。
檀信徒の皆様には今後ともお寺の護持発展に
ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。



花園会本部 平成28年度行事予定

大本山妙心寺では全国の檀信徒（花園会員）
を対象に今年も様々な行事が行われます。
ご興味のある方はどうぞご参加ください。



《 白隠禅師坐禅和讃 写経 》

平成29年は、臨済宗中興の祖である白隠禅師の250年遠諱に当たります。
これにちなみ、妙心寺では今年度末まで白隠禅師坐禅和讃の写経の納経を
受け付けています。納経をご希望される方は大智寺までお申し出ください。

（妙心寺への納経志納料1000円／一巻）

妙心寺に納められた納経志納料は、白隠禅師誕生の地や白隠禅師ゆかりの寺、
信州飯山「正受庵」の整備、白隠禅師250年遠諱事業に活用されます。

《 夏季講座 》

日時：8月25日（金）～27日（日）
場所：妙心寺・花園大学・花園会館
内容：禅学・仏教学他
申込：平成29年7月末日締切
費用：全日程コース 26,000円
1泊2日コース 17,000円
定員：150名

《 少年少女研修会 》

日時：3月24日（土）～26日（月）
場所：妙心寺・花園会館
内容：禅体験・法話・イベント
対象：小学4・5・6年生
申込：平成30年2月28日締切
費用：10,000円／人
定員：100名

お問い合わせ先

妙心寺派宗務本所 花園会本部 ☎075-463-3121
〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町64

大智寺だより

平成29年皐月
Vol.85

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去の紙面をご覧いただけ
ます。ご活用ください。

4月号発行部数
200部

ご愛読

ありがとうございます



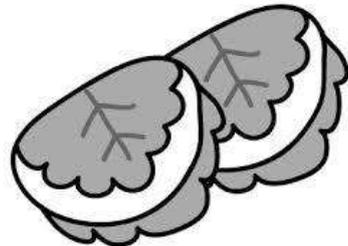
得月池にウシモツゴの放流を検討中

コイ科の淡水魚「ウシモツゴ」という絶滅危惧種をご存知ですか？

ウシモツゴは全長10センチ程のコイ科の淡水魚で、岐阜県、愛知県、三重県に生息する東海地方固有種です。



4月6日、岐阜市自然環境課の職員の方々がいらっしやり、ウシモツゴを大智寺の得月池に放流できないかとのご相談をお受けしました。



ウシモツゴは環境省のレッドリストにおいて絶滅危惧ⅠA類とされ2015年には岐阜市レッドリストにおいて「野生絶滅」とされています。岐阜市としては、整った自然環境の中で繁殖させたい意向だそうです。

ウシモツゴは1893年、新種の淡水魚として標本が東京帝国大学に報告されました。ちょうどその時、東京帝国大学動物学科に在学していた岐阜市出身の海洋学者、北原多作氏がその標本を、岐阜市での地方名「う志もろこ」と称して自身の経験を交えて生息環境や習性について記述し、あわせて報告しました。



けれども、実際東海地方固有種として新種記載されたのは2015年のことでした。

北原多作氏は、山県郡山県村北野（現岐阜市三輪）の生まれ。きっとこの北野周辺で博士はウシモツゴを見ていたのでしょう。再びこの地でウシモツゴが自然の中に帰っていきけるよう微力ながらご協力させていただく予定です。

京都 大本山妙心寺へお参りに行きませんか？



大本山妙心寺では全国の檀信徒様の新亡供養を毎年一回、執り行っています。

今回は、平成28年4月1日～平成29年3月末までの一年間にお亡くなりになられた方の新亡供養が行われます。



この妙心寺での新亡供養団参に合わせて、今年新亡供養に当たっていない方の一般団参も募集します。

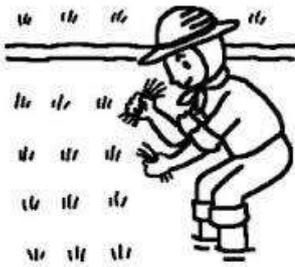
普段なかなか本山へのお参りができない方、新亡供養に当たっていた年にお参りできなかった方、お友達同土旅行気分でお参りしたい方、ご一緒に妙心寺へお参りに行きましょう。



日程：平成29年6月30日（金）
費用：11,000円（お一人様）
塔婆供養を希望される方は、追加1,000円（一霊）
締切：5月28日までに大智寺へ費用を添えてお申し込みください。

例年、朝5時～6時頃に大智寺の駐車場からバスに乗り、午前10時からの新亡供養法要に出席し、昼食は妙心寺内にて「阿じろ」の精進料理をいただきます。
今回は、午後に伏見稻荷を参拝し、岐阜に18時30分～19時到着予定です。
どうぞよろしくお願ひします。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

㊦

「後生菩提も願うべし 悪しき心も持まじに」

と一緒に「発菩提心空拳章」を読み進めてきましたが、
ようやく「菩提」という言葉が出てきました。

菩提とは「悟り」であり、「仏に成ること」です。

「後生菩提も願うべし」 菩提を求める心のことを「菩提心」といい、
この菩提心をおこすことを「発菩提心（ほつぼだいしん）」といいます。

離離たり原上の草 一歳ひとたび枯栄す
野火焼けども尽きず 春風吹いて又生す
（ 白楽天 「古原草を賦し得て別を送る」より ）

離離たり、とは原っぱの草の生い茂るさま。草は一年に一度栄えて、枯れていきます。
冬に野火で草を焼き払っても尽きることはなく、春風が吹く頃にはまた草が生えてくる。

このしぶとく尽きることのない雑草は、私たちの煩惱です。

煩惱はとても悪い心のように思われていますが、なくてはならない心でもあります。

煩惱の薪を焼いて、菩提の慧火現前するなり。

煩惱があるからこそ菩提心が芽生え、強い煩惱の力で悟りを求めていくことができるのです。

麦のこむじゆ

五月晴れの空に鯉のぼりが悠々と泳ぐ季節
となりました。皆様お変わりありませんか。

数年前までこの時期にはお墓の前に麦畑が
黄金色になびき、まさに麦秋という感があり
ました。麦は新芽がやっと出てきた1月後半
「麦踏み」をします。これは霜柱が立ち、根
や株を盛り上げるため、踏み固めて耐寒性を
付けるとともに、ほとんど伸びようとすると新
芽の勢いを抑え、背高ノッポの足腰の弱い茎
になるのを防ぐためだそうです。

でも手をかけるのは寒く辛い時期だけで
「彼岸過ぎの麦には手をかけるな」といい、
春の到来を区切りに、あとはすくすくと自立
して実ってゆくそうです。

こんな麦作の行程を間近に見ることはもう
なくなってしまうましたが、禅も麦と似てい
るようです。禅では「私」という色眼鏡を取
り払うため「一度死にきれ」といいます。伸
び放題になりそうな煩惱のかたまりである
「私」を殺し、「私」が勝手に作り上げた世界
を壊し、生まれたてのゼロ地点を目指します。
しっかり死にきり殺しきり壊しきり、麦踏み
を終えると、実り多き仏の道が見えてきます。

人格は地上の子らの最上の幸福なり(ゲーテ)
こどもの日を迎える今月、麦踏みを中心がけ
地上の子として私達一人ひとりが最上の幸福
を味わえる日が来ることを願います。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

新緑まぶしいこの時期に 豆乳の冷やし蒸し

- ① 長いも 100gは皮をむいて水にさらして、すりおろす。
- ② 豆乳1カップ、牛乳 1/2カップを混ぜて、すりおろした長いもと薄口しょうゆ小さじ2、塩少々、だし汁大さじ1と合わせる。
- ③ 水に戻したきくらげや、下茹でしたひすい豆、人参などととも器に入れて5分ほど蒸して冷やす。
- ④ 仕上げに下茹でしたオクラを小口切りにして浮かべる。



少し汗ばむような日に、冷やし蒸しが嬉しい一品になります。じゅんさいを入れても美味。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

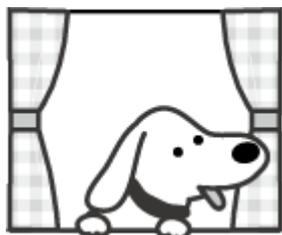
初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

5月28日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

4月写経会 備忘録

例年のごとく、早朝から住職がお土産用にと
タケノコ掘りにいそしむ4月の写経会。今朝も
大勢の方々にご参加いただきありがとうございます
でした。今月でこの写経会も6年目となりま
す。大勢の命を奪った震災からの年月、微力な
がらも何かせずにはいられないという気持ち
でここまでやってきました。感謝の一言です。



お釈迦様が生きていた頃
あんな人、こんな人



第四話 「ケシの実を探しなさい」
ゴータミーさん

お釈迦様がコーサラ国の祇園精舎に滞在されていたある日、
幼子を抱いた女が泣き叫び取り乱しながらやってきました。
「この子は病気なのです！どうか薬をください！助けて下さい！」
あまりに泣き叫ぶので弟子たちの手に負えず、お釈迦様が直接会われました。

見れば、抱かれた幼子はすでに息絶えていました。
「そうか、わかりました。助けてあげますから、ケシの実を街中回ってもらってきてください。
ただし、今までに一人たりとも死人を出したことのない家からもらってこなければ効果がない。
そこをしっかりと確かめてからケシの実をいただいてくるように」

女は喜んで街へ出て、一軒一軒尋ねて回りました。
ところがどの家でも「うちは親父の葬儀を出したばかりだ」「ずっと前に妹が死んで」などと言われ
一人も死人を出したことのない家は、一軒もありませんでした。
疲れ果てがっかりした女は、祇園精舎にたどり着きハッと気付きます。
形あるものは必ず壊れるのだ、と。
女は幼子を丁寧に葬り、その後出家し尼僧となり、お釈迦様のもと修行に励みました。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。